



▲「とれたて村」の外観

店内には全国各地の生産品が並んでいます。商品を売り込むといえ、お土産品などを最初に思い浮かべますが「とれたて村」では全国の安全・安心で、日常消費する食品を販売するのが、一つの特徴となっております。米や野菜が主として販売されています。そのため、お土産品のような商品はほとんどありません。北秋田市から出店する特産品は51商品。応募のあった全ての商品が6月に行われた選考会で出品を認められました。商品販売の販路拡大はもちろんのこと、来店された方々が興味を持ち、観光に訪れることも期待されます。

「とれたて村」販売商品（予定含む）（7月5日現在）

乾燥りんご	比内地鶏卵マヨネーズ
炭焼き一口たんぼ	無臭にんにく卵油
秋田のぼっかけ	比内地鶏卵油
ふきの親子漬	ピクルス
ひめたけ水煮カット	雑穀こまち
いぶりがっこつぼ漬	レタス
いぶりたけのこ	阿仁みそ
比内地鶏にんにくゴボウ味噌	ふき水煮
しじみの身入生姜味噌	ぜんまい水煮
もめん豆腐	わらび水煮
きぬごし豆腐	みずの実水煮
みどり豆腐	調味山菜（醤油味）
寄せとうふ	調味山菜（あまず味）
あきたこまち（玄米）	調味山菜（カレー味）
あゆ甘煮	調味山菜（かす味）
あゆ唐揚げ	味好（あーす）こまち
比内地鶏（正肉）	ワラビちゃん
比内地鶏（スープ）	ししとうラーメン
比内地鶏ご飯	ししとうチョコレート
比内地鶏卵プリン	みず菜（たたき）
比内地鶏スモーク	カット山菜



▲北秋田市の特産物が沢山並ぶ店内

※本文にある51商品は、規格（容量）が違う場合の商品でも1商品として数えています。



▲（左から）安井賢光副区長（由利本荘市出身）、坂本区長、津谷市長、虻川副市長

津谷市長が板橋区長を表敬訪問
 大山商店街「とれたて村」参加に伴い、7月14日、津谷市長、虻川副市長らが板橋区役所を訪れ、坂本健板橋区長と会談しました。会談のなかで坂本区長は「副区長も秋田出身ということで、この板橋区には地方出身の方は大勢いる。『とれたて村』をはじめ、いろいろな機会を通して北秋田市の特産物を宣伝・販売して頂き、なかなか帰郷出来ない人達に、故郷を身近に感じて頂ければと思っています。美味しく、安全、安心な食品を流通できることは板橋区としても大変喜ばしい」と話しました。最後に板橋区と北秋田市の発展のため、情報交換をしながら、交流を深めていくことを約束し、津谷市長と坂本区長は握手を交わしました。

アンテナショップ「とれたて村」



▲大山商店街振興組合で行われた調印式

津谷市長と三ツ井理事長がお互い、覚書に署名、押印した後、津谷市長は「北秋田市は水や空気が綺麗で、そこで採れる米や野菜、山菜は安全で安心な美味しいものばかりです。しかし、そのような特産品があるもののPR不足という問題がありました。この度の参加をきっかけに広く北秋田市をPRできることを期待しています。今後、情報交換をしながら、板橋区や大山商店街との交流を深めていきたいと思っています」などと言いました。続いて三ツ井理事長は「この度、北秋田市にも参加頂き、本当に嬉しく思います。この『とれたて村』は

板橋区ハッピーロード
 大山商店街
 物売るだけでなく、ふるさとの情報も広く伝えていきたいと思っておりますので、多くの情報を提供して頂きたい」などと言いました。板橋区ハッピーロード大山商店街は、東武東上線大山駅で下車した所にあります。商店街は560メートルのアーケードに覆われ、200を超える店舗が立ち並びます。1日に約2万3千人の来街者があり、イベント開催時となると約3万人が、この大山商店街を訪れます。大山駅から出るとすぐに、アーケード街となることから、雨の日でも傘を差さずに買い物ができる、老若男女幅広い客層が利用する、日本でも有数の活気がある商店街です。

北秋田市が、東京都板橋区ハッピーロード大山商店街のアンテナショップ「とれたて村」に参加しました。7月15日には、大山商店街振興組合の会議室で、津谷市長と大山商店街振興組合の三ツ井修理理事長が「とれたて村」参加の契約調印式を行いました。

北秋田市を全国へPR
 アンテナショップ「とれたて村」に参加



▲ハッピーロード大山商店街

アンテナショップ
 「とれたて村」

アンテナショップ「とれたて村」は板橋区の支援を受け、大山商店街振興組合が運営しています。平成17年にオープンし、今年で6年目になります。現在、北海道から九州まで全国12自治体に参加し、北秋田市は13番目の参加となります。